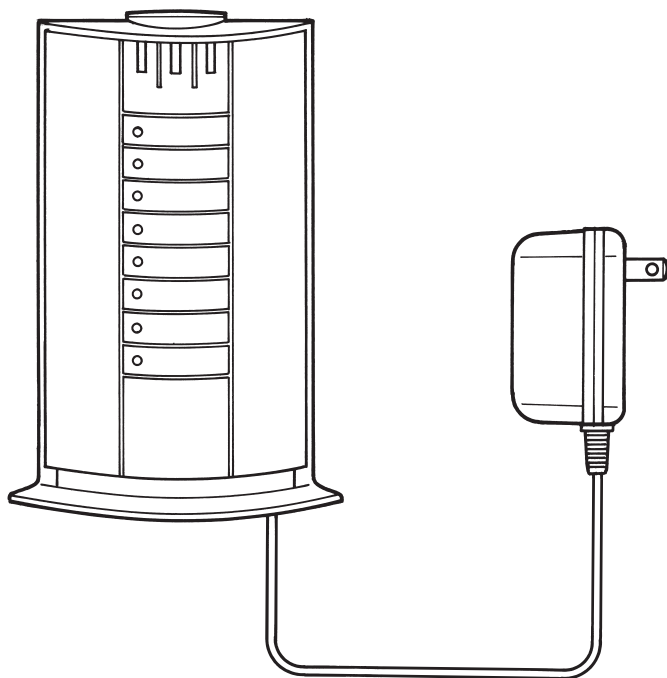


SUPERワイヤレス受信部

SHS-1000

お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お使いになるまえに、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、使用後は後日のために大切に保管してください。特に、登録設定を変更される場合に、必要となります。



詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9888(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)	・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3554-8451(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6685(代)	・近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・東京システム事業部 TEL.(03)3341-6282(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(092)922-6556(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・埼玉営業所 TEL.(048)652-3311(代)	・岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代)	・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)	・熊本営業所 TEL.(098)267-6211(代)
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)			・南九州営業所 TEL.(098)874-6202(代)
・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)			・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京本社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(076)662-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く) ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

(2004年3月現在)

	ページ
《安全上のご注意》	1～3
2 概 要	4
3 取扱説明書の読み方	5
4 各部の名称とはたらき	
正面 底面	6
裏面	7
5 使用 方法	
1. グループIDとチャンネルの設定	8
1-1. グループIDの設定	8
1-2. チャンネルの設定	8
2. 電源の入れ方と初期設定	9
3. 在宅警戒／外出警戒／来客モードについて	
3-1. 在宅警戒モード	10
3-2. 外出警戒モード	10
3-3. 来客モード	10
4. 報知時間と音量	
4-1. 報知時間	11
4-2. 音量	11
5. 報知音とリレー出力	
5-1. 報知音	11
5-2. リレー出力	12
6. 電池切れ表示	12
7. 送信場所表示シール	12
在宅警戒モード	13～14
外出警戒モード	15～16
6 登録設定方法	
1. 初期登録パターンの設定方法	
1-1. 初期登録パターン	17
1-2. パターン選択方法	18
1-3. 報知音と確認方法	18～19
2. 報知音とリレー出力登録方法	
2-1. 確認・登録モードの切り換え方法	19
2-2. メロディ／固定メッセージの登録方法	20～21
2-3. 録音メッセージの登録方法	22～23
2-4. 登録報知音の確認方法	23
7 点 検 方 法	24
8 仕 様	24
9 機 能 表	25

《安全上のご注意》

- ご使用前に、この取扱説明書(安全上のご注意)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

表示について：取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

●付属のACアダプタの使用において

- 電源はAC100V 50/60Hz以外使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- コードに家具やイスなどコードを傷つけるおそれのあるものを置かないでください。火災・感電の原因となります。

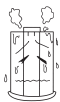
- コードは束ねて使用しないでください。破損により火災・感電・故障の原因となります。

- コードを無理に引っばったり、振り回したりしないでください。破損により火災・感電・故障の原因となります。また、本体が人に当たりけがの原因となります。

- 病院など医療施設内や心臓のペースメーカーを使用している方のすぐそばでは使用しないでください。



- 万が一、本器の内部に水などの液体が入った場合は直ちにACアダプタをコンセントから抜き、ご購入店へ相談してください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万が一、本器より煙が出ている、いつもと違う変な臭いがあるなど異常を確認した場合、ACアダプタをコンセントから抜き、異常がなくなるのを確認してからご購入店で調査、修理を依頼してください。異常状態で使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 分解したり、修理・改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 寝ている方の頭の上あたりや高いところに設置しないでください。特に小さなお子さまがいる場合、頭上に落下してけがの原因となります。



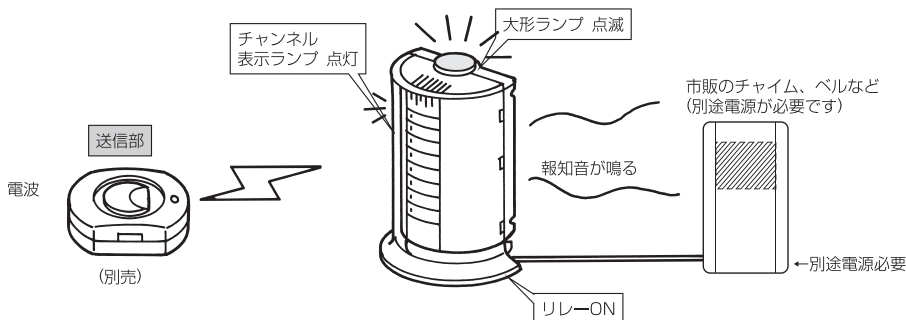
⚠ 注意

- 下記のような場所では電波到達距離が短くなったり、誤動作や受信動作しない場合があります。
 - 本器と送信部の間に、鉄板類、鉄骨または断熱材としてアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用した壁面がある。
 - 本器または送信部の周辺が金属物で囲まれているような場所。(カラオケボックスなど)
 - テレビやラジオの送信所や無線局(ミニFM局、アマチュア無線局など)の近く。
 - テレビ、ラジオ、パソコン、ファクシミリ、コードレス電話機、電子レンジ、電波式送信機や受信機(特に特定小電力機器)、携帯電話、PHSなどノイズや電波を発生している機器の近く。
 - 違法無線を搭載した車が多く通る車道の近く。
 - 直流モーターが動作している近く。
- 下記のような場所では使用しないでください。故障の原因となります。
 - エアコン、ストーブ、ガス/電気レンジ等、温度変化の激しい場所。
 - 直射日光の当たる場所。
 - 台所など水蒸気や油類のかかる場所。
- 本器のお手入れは柔らかい布で乾拭きか中性洗剤を薄めた水に浸して絞った布で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。表面の変色や変形の原因となります。



■基本動作

本器は別売のスーパーワイヤレス送信部からの電波による信号を受信すると報知音および大形ランプとチャンネル表示ランプで送信部からの情報を通知し、また同時にリレー出力によりチャイム、ベルおよびその他の機器を作動させることができます。ただし、リレー出力はチャイム等の接続機器をスタートさせる機能であり、電源は供給できません。接続機器の電源は別途用意してください。



■モード

本器には、次の3種類の動作モードがあり、状況に応じたモードを選択して使用します。

- 在宅警戒モード……夜間や物置で作業中など在宅中に警戒する場合
玄関などにセンサ式の送信部を設置している場合にチャンネル1～3を警戒状態にしないで来客通知専用を設定することもできます。
- 外出警戒モード……外出中に侵入者に対する報知音による威嚇やどこから侵入したかの確認などに使用する場合
玄関などにセンサ式の送信部を設置している場合、チャンネル1～3をその場所より外出したり帰宅するとき、送信部からの信号を最初の1分間は受信しない外出タイマー作動
外出タイマー終了後は30秒間受信動作を遅延の設定にすることもできます。
- 来客モード………来客通知専用を使用する場合
受信できるのは1～3チャンネルのみです。(4～8チャンネルは受信しません。)
メモ 来客モードは、各種送信部が設置されている場所や家の中を掃除するときを使用すると便利です。

■必要な設定

送信部 1台の場合、標準(工場出荷時)設定では、

チャンネル1～3

在宅警戒モード時：来客報知音

外出警戒モード時：警戒報知音、外出タイマー作動、報知動作遅延

チャンネル4～8

在宅警戒モード／外出警戒モード：警戒報知音

チャンネル1とチャンネル8のリレー出力：有(動作する) その他のチャンネルは無(動作しない)にしています。この仕様で問題なければ特に設定を変更する必要はありません。(念のため、グループIDが同じ設定かどうか確認してください。)

標準(工場出荷時)仕様で使用する場合 ……簡単な操作で十分使用できる方法

ページ1《安全のご注意》～ページ19

登録設定方法の初期登録パターン設定方法まで読んでください。

標準仕様 とは工場出荷時に各警戒モードにおいて受信1チャンネルごとに報知音やリレー出力の有無を登録設定した仕様です。

お客様は、面倒な設定をする必要がなく、電源を入れるだけですぐ使用することができます。

報知音およびリレー出力パターンは5種類を用意(登録)しています。電源を入れると1種類(パターン1)を自動で設定しますが、簡単な操作で残りの4種類からも選択できます。……………(ページ17～19)

ただし、報知音として録音メッセージは含んでいません。

(すべてのチャンネルがメロディと固定メッセージの組み合わせになっています。)

個別登録仕様で使用する場合 ……少し手間のかかる設定が必要です。
必要の方のみ読んでください。

登録設定方法の報知音とリレー出力設定方法 (ページ19)

以降で特に必要としない場合は省略しても問題ありません。

個別登録仕様 とは、お客様が各警戒モードにおいて受信1チャンネルごとに報知音の選択および録音やリレー出力の有無の登録設定を行い変更したお客様独自の仕様です。

〈独自に登録設定できる項目〉…………… ページ19～23

(1)報知音の選択

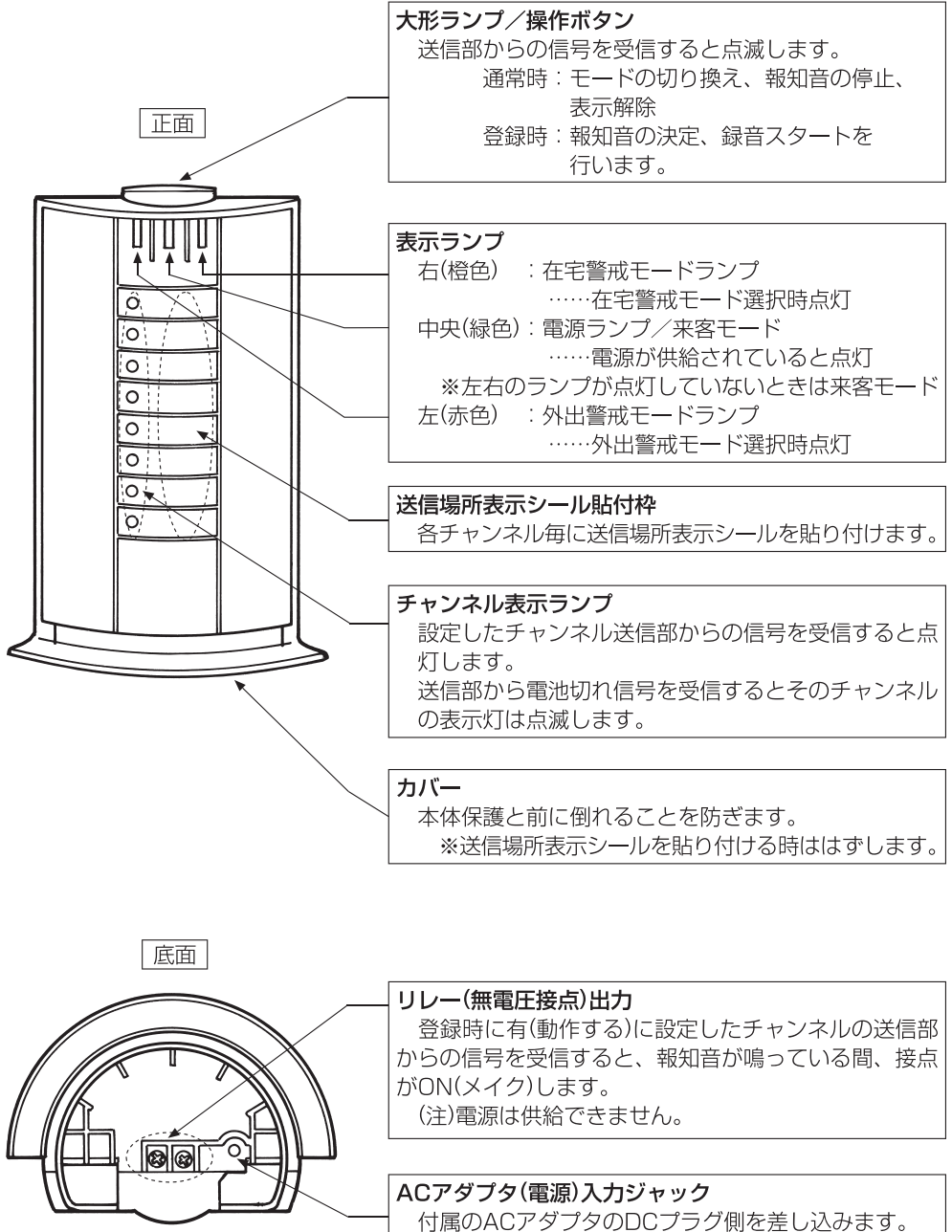
●報知音には3種類あります。

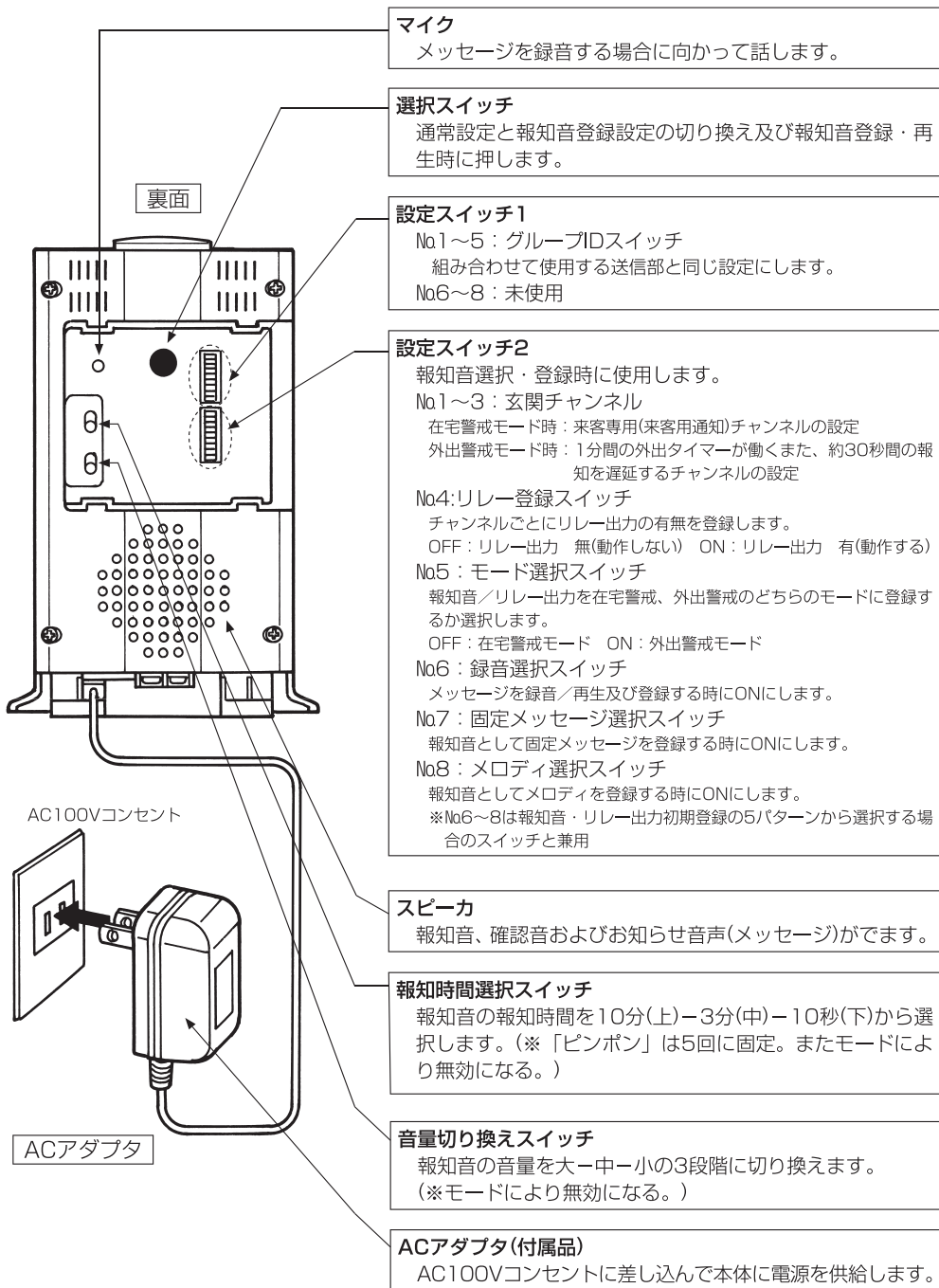
●メロディ：12種類内蔵しています。…………… ページ20

●固定メッセージ：13種類内蔵しています。…………… ページ20

●録音メッセージ：お客様が録音した音声メッセージなどを…………… ページ22～23
報知音にします。

(2)リレー出力の有(動作する)／無(動作しない)の選択





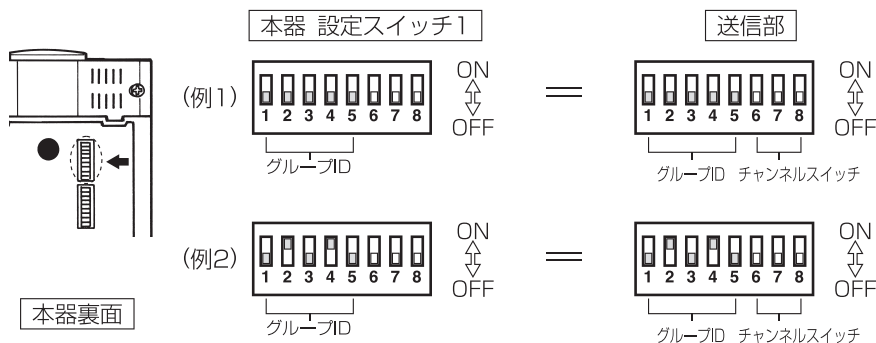
(注) 本文中の「ピンポン」5回とは、「ピンポンピンポンピンポン」の連続報知を1回としていますので実際は「ピンポン」を15回報知します。

注意 本器は単体では使用できません。必ず、スーパーワイヤレスシリーズの送信部と組み合わせて使用してください。

1. グループIDとチャンネルの設定

1-1. グループIDの設定

本器裏面の**設定スイッチ1 No.1～5**のグループIDスイッチを組み合わせる**送信部のグループIDスイッチと同じ設定**にします。異なる設定では送信部からの信号を受信できません。(工場出荷時 本器、送信部ともに全てOFFに設定しています。)



※グループIDスイッチの組み合わせは上図を含め32通りあります。となり近所でスーパーワイヤレスシリーズが設置されると混信して誤動作することがあります。このような場合はグループIDスイッチの組み合わせを変えれば解決できます。

1-2. チャンネルの設定

組み合わせて使用する送信部のチャンネルスイッチで本器の受信するチャンネルが設定されます。チャンネルは下表の通りです。【送信部の工場出荷時の設定は**全てOFF(チャンネル1)**にしています。】

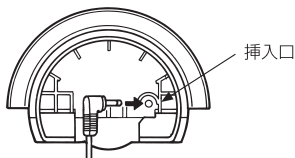
送信部チャンネルスイッチ	本器受信チャンネル
	1
	2
	3
	4

送信部チャンネルスイッチ	本器受信チャンネル
	5
	6
	7
	8

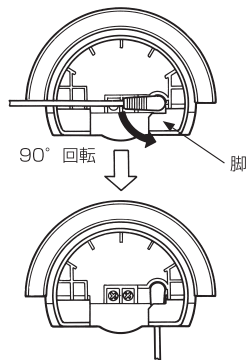
2. 電源の入れ方と初期動作

(注)初期動作を開始しましたら、⑥の「警戒に入りました」とお知らせするまで、設定スイッチ2の設定を変更しないでください。

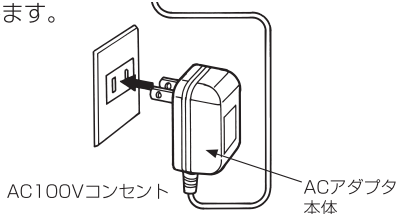
- ①本器底面の挿入口にACアダプタのプラグ側を差込みます。



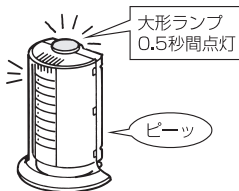
- ②プラグを中心90°回転し、脚の間に挟むようにします。



- ③ACアダプタ本体をAC100Vコンセントに差し込みます。



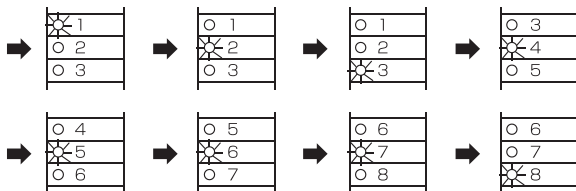
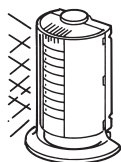
- ④電源ランプ点灯後、確認音(ピーツ)と鳴り、大形ランプが0.5秒間点灯します。(初期動作を開始します。)



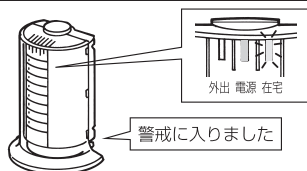
- ⑤各ランプの動作チェックを開始します。順次0.5秒間ずつ点灯します。

- 在宅警戒ランプ→外出警戒ランプ→チャンネル表示ランプ(チャンネル1→2→3→……→8)

ランプが順次点灯



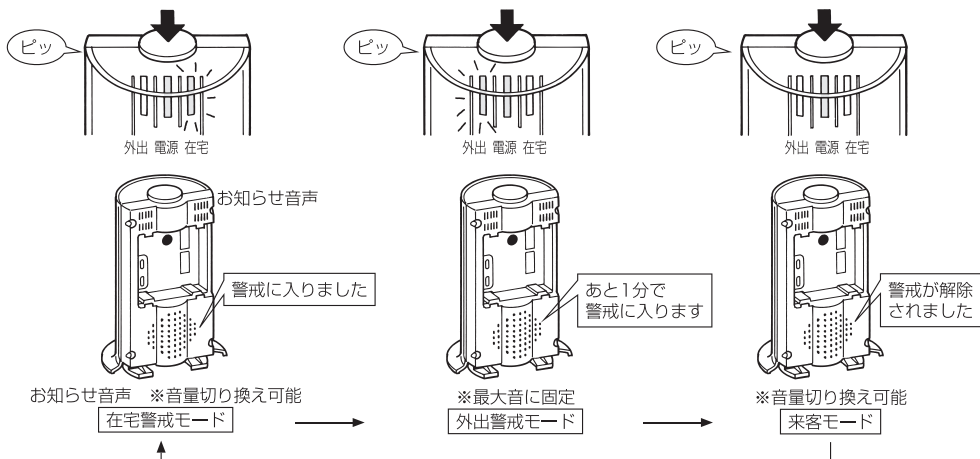
- ⑥ランプチェック終了後、自動的に在宅警戒モードランプが点灯し、「警戒に入りました」とお知らせして在宅警戒モードに入ります。



3. 在宅警戒／外出警戒／来客モードについて

本器は「在宅警戒モード」「外出警戒モード」「来客モード」の3種類のモードがあります。操作ボタンを1回押すごとに3つのモードを切り換えることができます。切り換えは在宅および外出警戒モードランプとお知らせ音声(音声メッセージ)で確認することができます。

※電源投入時自動的に在宅警戒モードに設定します。



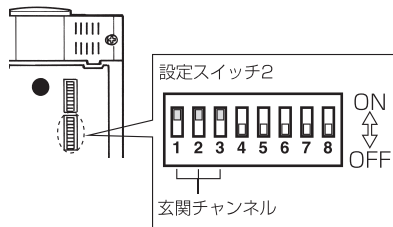
3-1. 在宅警戒モード

【注意】 設定スイッチ2 No.6～8は全てOFFであることを確認してください。

夜間など在宅での警戒に使用します。

尚、玄関などにセンサー検知式の送信部を設置し、警戒中に来客や家の方が戻る場合、警戒にたくないときは、設定スイッチ2のNo.1～3 玄関チャンネルスイッチで選択したチャンネル(チャンネル1～3から選択)を来客チャイム用として設定できます。

※工場出荷時チャンネル1～3全て来客用に設定しています。
詳細はページ13 **在宅警戒モード** の項を参照してください。



3-2. 外出警戒モード

外出時の警戒／威嚇に使用します。

尚、玄関などにセンサー検知式の送信部を設置し、その場所より外出する場合、送信部が検知しても受信報知して欲しくないときは、

設定スイッチ2のNo.1～3 玄関チャンネルスイッチで選択したチャンネル(チャンネル1～3から選択)を外出タイマー作動チャンネルに設定できます。**1分間**は受信による**ランプ表示、報知およびリレー出力を無効**にします。

また、外出タイマー終了後は設定したチャンネルを受信したとき、ランプ表示はすぐにしますが**報知音は30秒間遅延**されます。外出先から帰ってきたとき、その間に操作ボタンを押して外出警戒モードを解除すると、報知音が鳴りません。

※在宅警戒モードの玄関チャンネルと同じ設定になります。
詳細はページ14 **外出警戒モード** の項を参照してください。

3-3. 来客モード

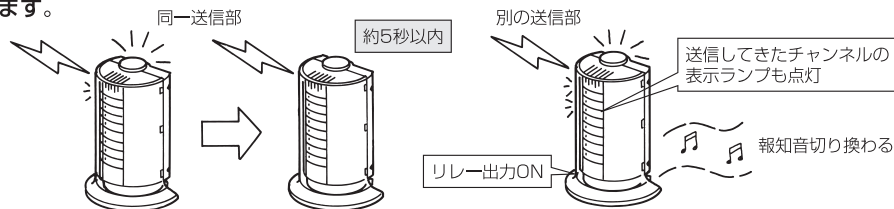
来客用チャイムとして使用します。

受信チャンネルは1～3のみです。チャンネル4～8は通常の信号を受信しません。(電池切れ信号のみ受信します。)

動作／報知音は在宅警戒モードにおいてチャンネル1～3すべて玄関チャンネルに設定した場合と同じです。ページ13 **在宅警戒モード** の項を参照してください。

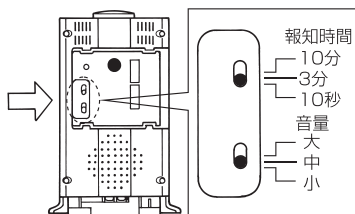
〈使用中の注意〉

- ①送信部からの信号を受信した場合、**同一送信部**からの信号を受信後、**約5秒間**は受信しません。1度受信後、強制ストップで表示ランプ、報知音、リレー出力が停止している場合も同じです。
- ②①の状態、**別の送信部**からの信号は**受信します**ので、報知音が鳴っている途中でも**切り換わります**。



4. 報知時間と音量

モードにより裏面の切り換えスイッチにて3段階に切り換えることができます。



4-1. 報知時間

在宅警戒モードの警戒チャンネルおよび外出警戒モードでの受信時、報知時間を 10秒 ↔ 3分 ↔ 10分 の3段階に切り換えることができます。

※在宅警戒モードの玄関チャンネルおよび来客モードの3チャンネル受信時は約10秒に固定。ピンポンは5回に固定。

4-2. 音量

在宅警戒モード時の玄関チャンネルおよび来客モードの3チャンネル受信時、報知音量を 小 ↔ 中 ↔ 大 の3段階に切り換えることができます。

※在宅警戒モードの警戒チャンネルおよび外出警戒モードでの受信時は最大音に固定。

5. 報知音とリレー出力

5-1. 報知音

メロディ12曲、固定メッセージ13種類を内蔵しています。チャンネルごとに登録設定ができます。

また、1チャンネル6秒間のメッセージを在宅警戒モードおよび外出警戒モードごとに8チャンネル全てに録音することもできます。

また、チャンネルごとの報知音登録の手間を省くため、メロディと固定メッセージで5パターンを初期登録しています。この5パターンから1パターンを登録設定することもできます。

工場出荷時は**パターン1**に登録設定しています。(詳細はページ17の「**1.初期登録パターンの設定方法**」を参照)

パターン1の報知音

チャンネル	在宅警戒モード	外出警戒モード	来客モード
1	ピンポン(メロディ)	ビーポー(メロディ)	ピンポン(メロディ)
2	トレモロ(メロディ)	ビーポー(メロディ)	トレモロ(メロディ)
3	ブローグ(メロディ)	ビーポー(メロディ)	ブローグ(メロディ)
4	すぐ来てください(音声)		
5	すぐ来てください(音声)		
6	お手洗いから呼び出しです(音声)		
7	不法侵入です(音声)		
8	不法侵入です(音声)		

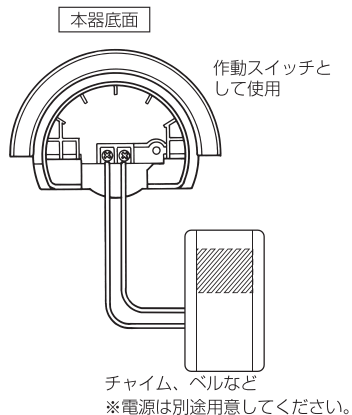
5-2. リレー出力

本器に1個のリレー出力(無電圧メイク接点)を内蔵しています。チャンネルごとにリレー出力の有(動作する)、無(動作しない)を設定することができます。受信時に別の機器(チャイム、ベルなど)を作動(スイッチとして)させたい場合などに使用します。

接点容量 DC14V 3Aまで

(注)電源は供給できません。またAC電源には使用できません。

※初期登録 パターン1のリレー出力はチャンネル1とチャンネル8が有(動作する)その他のチャンネルは全て無(動作しない)に登録設定しています。



6. 電池切れ表示

送信部から電源切れ表示信号を受信すると玄関チャンネルは報知終了後、警戒チャンネルは操作ボタンを1回押した後、受信チャンネルの表示ランプが点滅を開始し「電池を交換してください。」というお知らせ音声は2回報知します。

同一チャンネルの送信部からの電池交換後の信号を受信すると点滅は終了します。

送信部は2通りの方法で電池切れ信号を送信します。

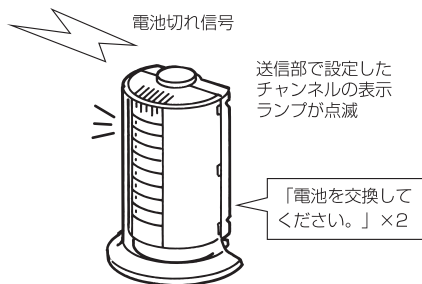
①電池電圧が約2.5V以下になると自動で1回だけ送信します。

②電池切れ状態で送信した場合

電池切れ信号を付加して送信します。

※来客モード時ではチャンネル4~8に設定した送信部から電池切れ表示信号のみ受信します。

(注)「電池を交換してください。」というお知らせ音声は、操作ボタンを押すごとに、また、電源を入れ直したときに報知します。

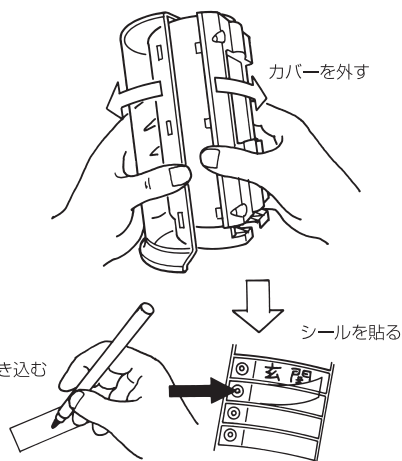


7. 送信場所表示シール

送信部の設置が終了後、カバーを外して、本器のチャンネル表示部の貼り付け枠に付属の「送信場所表示シール」を貼り付けますと、どの送信部からの信号を受信したかすぐに分かり便利です。

静電式シールですので間違っても貼り付けたり、送信部の場所を変えたとき、すぐにはがして貼り換えることができます。

付属のシールに印刷している場所がない場合、印刷していないシールに油性のマジック等で書き込んで使用してください。



在宅警戒モード

夜間など在宅での警戒に使用します。また、玄関チャンネルスイッチでチャンネル1～3を来客チャイム用として設定できます。

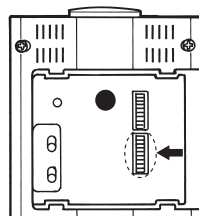
玄関などにセンサ検知式の送信部を設置し、警戒中に来客や家の方が戻る場合、警戒にしたくないときに設定します。

〈玄関チャンネル〉





報知時間、ランプ表示時間およびリレー出力時間が固定になります。(報知時間選択スイッチは無効になります。)

報知音量は切り換えスイッチで3段階に切り換えることができます。ただし、玄関チャンネルの設定の有無に関係なく**報知音は同じ**です。

※工場出荷時は3チャンネルすべて玄関チャンネルに設定しています。



本器裏面

スイッチ	玄関チャンネル
 ON ↓ OFF	なし ※(注)2. (全チャンネル音量スイッチ有効)
 ON ↓ OFF	チャンネル1
 ON ↓ OFF	チャンネル2
 ON ↓ OFF	チャンネル1と2

スイッチ	玄関チャンネル
 ON ↓ OFF	チャンネル3
 ON ↓ OFF	チャンネル1と3
 ON ↓ OFF	チャンネル2と3
 ON ↓ OFF	チャンネル1～3 (3チャンネル全て) ※工場出荷時の設定

(注) 1. 玄関チャンネル以外のチャンネルは**警戒チャンネル**となります。

2. 玄関チャンネルなし(No.1～No.3すべてOFF)の場合

チャンネル1～8すべて**音量**がスイッチで大・中・小に**切り換え可能**になります。

〈音量と報知時間〉

下表の通りです。

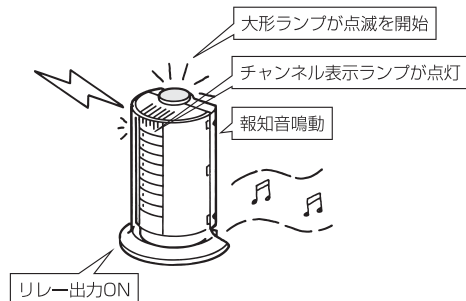
	玄関チャンネル	玄関チャンネルなし (全チャンネル)	警戒チャンネル
音 量	スイッチにより 大中小に切り換え可能		最大音に固定 (音量スイッチは無効)
報知時間(回数)	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定(報知時間選択スイッチは無効) メロディ ピンポンは5回 その他は約10秒 固定メッセージ 3回 録音メッセージ 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ● 報知時間選択スイッチにより10秒～3分～10分 切り換え可能 ※ピンポンは5回に固定 	
	● 操作ボタンにより強制ストップ可能	● 操作ボタンにより強制ストップ可能	
リレー出力 (「有」登録の場合)	報知時間に連動		

※報知音はページ17 **登録設定方法** 1-1.初期登録パターンを参照してください。

※リレー出力は「有」登録の場合のみONします。

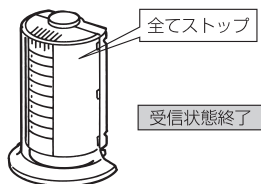
受信動作

①送信部からの信号を受信すると



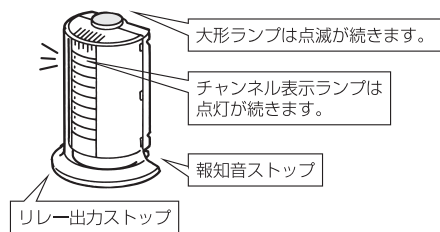
② 玄関チャンネルの場合

固定時間後全てストップします。受信状態を終了します。

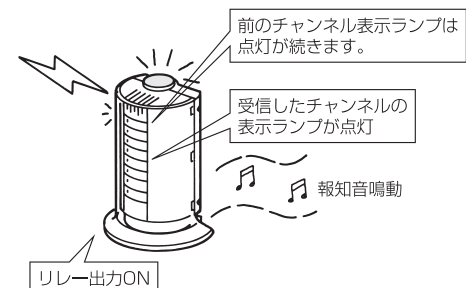


警戒チャンネルの場合

報知時間終了で報知音、リレー出力ストップ
大形ランプ、チャンネル表示ランプは**強制ストップ**するまで動作を続けます。



この状態で別チャンネルの送信部からの信号を受信した場合



強制ストップ

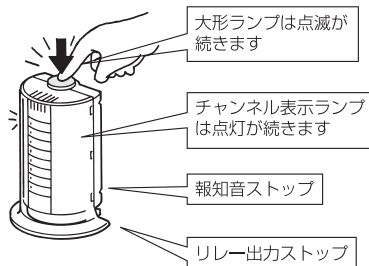
報知音鳴動中

操作ボタンを1回押すと報知音、リレー出力はストップします。

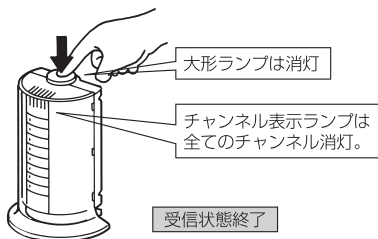
さらに1回押すと大形ランプ、チャンネル表示ランプが消灯。

受信状態終了します。

1回押す



もう1度押す



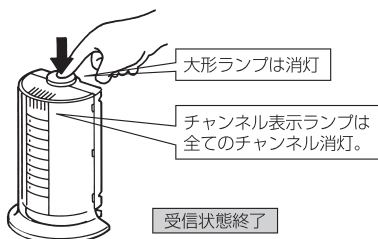
報知時間終了後

操作ボタンを1回押すと大形ランプ、チャンネル表示ランプが消灯。受信状態終了します。

大形ランプは消灯

チャンネル表示ランプは全てのチャンネル消灯。

受信状態終了



外出警戒モード

外出時の警戒／威嚇に使用します。

〈玄関チャンネル〉

在宅警戒モードと同じチャンネルが設定されます。

外出警戒モードに切り換えてから **1分間** 玄関チャンネルに設定した送信部からの信号を受信し**ません**。〔モード切り換え動作〕

この間に玄関チャンネルに指定した送信部を設置した玄関から外出してください。

※センサで検知して送信する送信部を設置している場合に設定します。

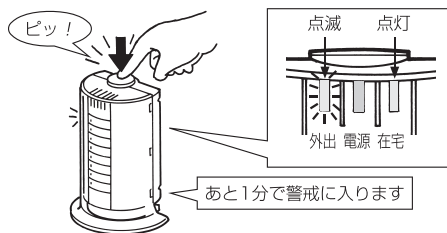
但し、**玄関チャンネル以外のチャンネル(警戒チャンネル)に設定した送信部からの信号を受信すると即、報知音が鳴ります。また、「モード切り換え動作」を解除してすぐに「外出警戒モード」になります。**

〈モード切り換え動作〉

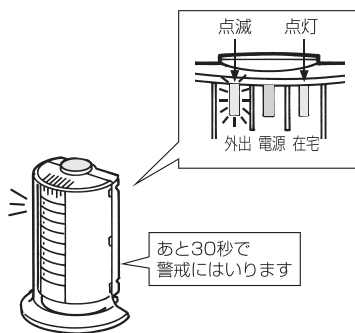
※お知らせ音声は最大音に固定しています。

①在宅警戒モードから**操作ボタン**を押して外出警戒モードに切り換えます。

報知音	操作確認音(ピッ)が鳴った後「あと1分で警戒に入ります」とお知らせします。
在宅警戒ランプ	点灯
外出警戒ランプ	点滅

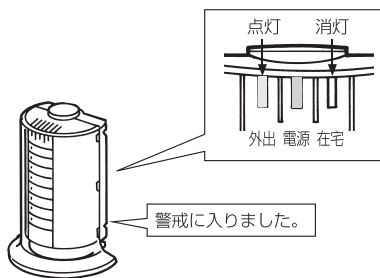


②**30秒後**「あと30秒で警戒に入ります」とお知らせします。



③1分後

報知音	「警戒に入りました」とお知らせします。
在宅警戒ランプ	点灯→消灯
外出警戒ランプ	点滅→点灯



〈音量と報知時間〉

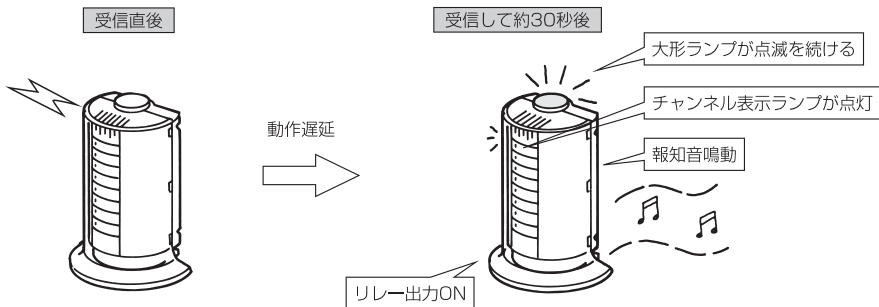
音量	最大音に固定(音量スイッチは無効)
報知時間	報知時間スイッチにより10秒-3分-10分 切り換え可能 ※ピンポンは5回に固定 操作ボタンにより強制ストップ可能
リレー出力(「有」登録の場合)	報知時間に連動

受信動作

①送信部からの信号を受信すると

玄関チャンネルの場合

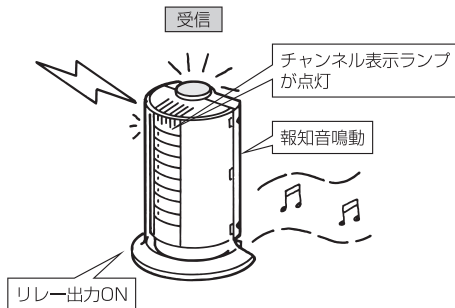
- 受信時 チャンネルのランプが「2回点滅し、しばらくして2回点滅」を繰り返します。大形ランプは点滅。
- 30秒後 チャンネルランプが点灯して、報知音が鳴りリレーが作動(リレーON登録の場合)します。



(注)
別の玄関チャンネルに設定したチャンネルの信号を受信した場合、前のチャンネルランプは点灯になり、あとの信号のチャンネルが点滅を開始します。但し、遅延タイムは最初の信号を受信してから30秒です。報知音、リレー出力はあとの信号の動作になります。

警戒チャンネル

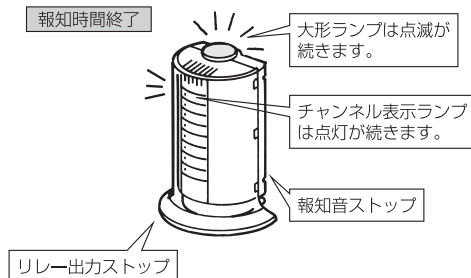
- すぐに報知音、リレー出力が動作します。



(注)
1つ前に受信したチャンネルで報知音、リレー出力が動作している時に、異なるチャンネルの信号を受信した場合、あとの信号の動作(報知音、リレー出力)に切り換わります。

②報知時間終了後

- 報知音およびリレー出力→ストップ
- 大形ランプ、チャンネル表示ランプ→強制ストップするまで動作を続けます。



※この状態での別の送信部からの信号を受信した場合でも前のチャンネルの表示動作は続きます。

強制ストップ

在宅警戒モードの強制ストップ方法と同じです。

在宅警戒モード の 強制ストップ の項を参照してください。

1. 初期登録パターンの設定方法

初期設定の5パターンから1パターンを選択します。

※工場出荷時はパターン1が登録設定しています。

1-1. 初期登録パターン

パターン1(工場出荷時)					パターン2					
チャンネル	在宅警戒モード	リレー	外出警戒モード	リレー	チャンネル	在宅警戒モード	リレー	外出警戒モード	リレー	
1	ピンポン(メロディ)	◎	ピーポー(メロディ)	◎	1	ピンポン(メロディ)	×	ピーポー(メロディ)	×	
2	トレモロ(メロディ)	×	ピーポー(メロディ)	×	2	スティング(メロディ)	×	ピーポー(メロディ)	×	
3	ブローグ(メロディ)	×	ピーポー(メロディ)	×	3	お客様です(音声)	◎	玄関に侵入者がいます(音声)	◎	
4	すぐ来てください(音声)				×	4	すぐ来てください(音声)			
5	すぐ来てください(音声)				×	5	すぐ来てください(音声)			
6	お手洗いから呼び出しです(音声)				×	6	お手洗いから呼び出しです(音声)			
7	不法侵入です(音声)				×	7	不法侵入です(音声)			
8	不法侵入です(音声)				◎	8	不法侵入です(音声)			
パターン3					パターン4					
チャンネル	在宅警戒モード	リレー	外出警戒モード	リレー	チャンネル	在宅警戒モード	リレー	外出警戒モード	リレー	
1	ピンポン(メロディ)	×	ピーポー(メロディ)	◎	1	お客様です(音声)	×	不法侵入です(音声)	◎	
2	お客様です(音声)	×	玄関に侵入者がいます(音声)	◎	2	お客様です(音声)	×	不法侵入です(音声)	◎	
3	お客様です(音声)	◎	不法侵入です(音声)	◎	3	お客様です(音声)	◎	玄関に侵入者がいます(音声)	◎	
4	すぐ来てください(音声)				◎	4	すぐ来てください(音声)			
5	お手洗いから呼び出しです(音声)				◎	5	お手洗いから呼び出しです(音声)			
6	不法侵入です(音声)				◎	6	お風呂場から呼び出しです(音声)			
7	お風呂場から呼び出しです(音声)				◎	7	ガス漏れが発生しました(音声)			
8	2階の窓が開きました(音声)				◎	8	火事が発生しました(音声)			
パターン5					リレー出力：◎ 有(動作する) × 無(動作しない) 来客モードは在宅警戒モードのチャンネル1~3と同じ					
チャンネル	在宅警戒モード	リレー	外出警戒モード	リレー						
1	ピンポン(メロディ)	◎	ピーポー(メロディ)	◎						
2	エデンの東(メロディ)	◎	不法侵入です(音声)	◎						
3	お客様です(音声)	◎	玄関に侵入者がいます(音声)	◎						
4	すぐ来てください(音声)									◎
5	お手洗いから呼び出しです(音声)									◎
6	2階の窓が開きました(音声)									◎
7	ガス漏れが発生しました(音声)				◎					
8	火事が発生しました(音声)				◎					

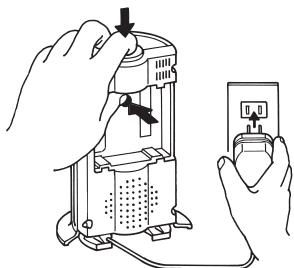
※この5パターンは電源を切っても記憶していますので、いつでも入れ換えることができます。
 「2. 報知音とリレー出力登録方法」で個別に登録した後でも、入れ換えることができます。
 (但し、個別に登録した報知音は全て消えます。)

1-2. パターン選択方法

①電源を入れる前に裏面の設定スイッチ2 No.6～8でパターンを選択します。

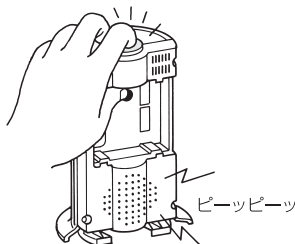


②操作ボタンと選択スイッチを同時に押しながら電源を入れます。



③大形ランプが点滅して「ピーッピーツ」と報知するまで約2秒以上押し続けます。その後、初期動作(9ページ「2.電源の入れ方と初期動作」を参照)を開始します。

「警戒に入りました」とお知らせした後、必ずNo.6～8を全てOFFに戻してください。



1-3. 報知音の確認方法

①設定スイッチ2のNo.6 OFF No.7またはNo.8のどちらか一方のみをON(その他は必ずOFF)にします。



③設定スイッチ2のNo.5で確認するモードを選択します。(モードランプも切り換わります)

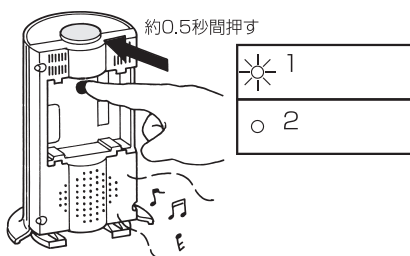


在宅警戒モード/来客モード

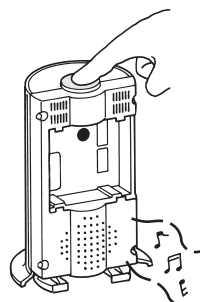


外出警戒モード

②選択スイッチを約0.5秒間押します。確認音(ピッ)が2回してチャンネル1の表示ランプが点灯、報知音が1回鳴ります。

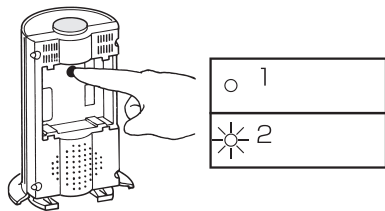


④操作ボタンを押すと報知音が鳴り始めます。もう一度押すと鳴り止みます。

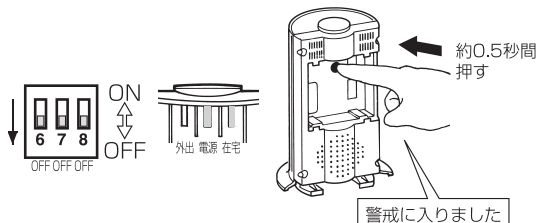


⑤ **選択スイッチ**を押すと次のチャンネルになります。

※④と⑤の操作を繰り返すと各チャンネルの報知音が確認できます。



⑥ 操作ボタンを押して**報知音を止めた後**No6～8をOFFにして、約0.5秒間**選択スイッチ**を押すと通常の在宅警戒モード(在宅警戒ランプが点灯、「警戒に入りました」と報知します。)



2. 報知音とリレー出力登録方法

報知音とリレー出力登録は同時に行います。
登録すると前の報知音と入れ替わります。

① 設定スイッチ2で

No4：リレー出力の有(動作する)、無(動作しない)

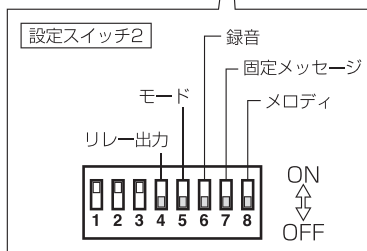
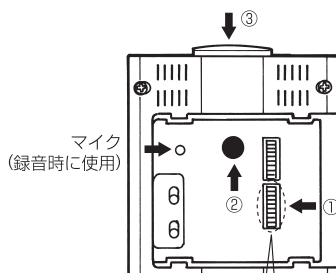
No5：在宅警戒／来客モードの報知音か外出警戒モードの報知音の選択

No6～8：報知音(「メロディ」、「固定メッセージ」、「録音メッセージ」のうち1つ)を選択します。

(注)No6、7、8のスイッチは必ずどれか1つだけ選択(ON)にしてください。2つ以上選択すると、通常の受信モードになります。

② 選択スイッチで登録するチャンネルを選択します。

③ 操作ボタンで報知音の選択(録音の場合は録音スタート)と登録および確認をします。



2-1. 確認・登録モードの切り換え方法

① 設定スイッチ2 No6、No7、No8で報知音を選択します。



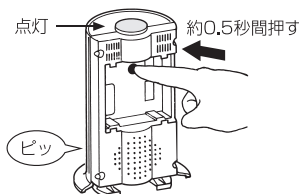
※登録時に切り換えることもできます。

②①を電源を入れる前に行った場合は電源を入れたとき自動的に確認・登録モードになります。

①を通常モードで使用中心に行った場合は**選択スイッチを約0.5秒押す**と確認・登録モードになります。

(注)約2秒以上押すと切り換わりません。

確認・登録モードになると大形ランプが点灯します。



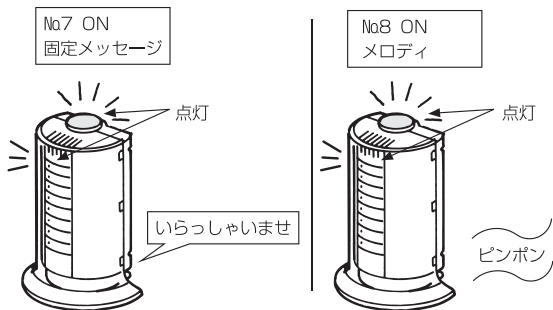
2-2. メロディ／固定メッセージの登録

・登録されている固定の報知音リスト

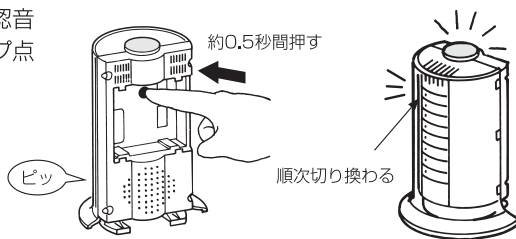
No.	メロディ音リスト
1	ピンポン
2	トレモロ
3	ブローグ
4	エデンの東
5	スティング
6	ホイッティングトーン
7	アメリカンモーニング
8	ウエストミンスター
9	ピーポーピーポー
10	その風のメヌエット
11	愛はきらめきの中に
12	ビビバビデブー

No.	固定メッセージ音リスト
1	いらっしゃいませ
2	ありがとうございました
3	お客様です
4	不法侵入です
5	ガス漏れが発生しました
6	火事が発生しました
7	助けてください
8	すぐ来てください
9	玄関に侵入者がいます
10	1階の窓が開きました
11	2階の窓が開きました
12	お風呂場から呼び出します
13	お手洗いやから呼び出します

①2-1.①でNo.7をON(固定メッセージ)または、No.8をON(メロディ)にしたとき、確認・登録モードに切り換わると、大形ランプ、チャンネル1の表示ランプがそれぞれ点灯し、登録No.1の報知音が1回鳴ります。登録報知音の**確認モード**になります。



②**選択スイッチを約0.5秒間押す**ごとに確認音(「ピッ」)が鳴り、チャンネル(表示ランプ点灯)が順次切り換わります。



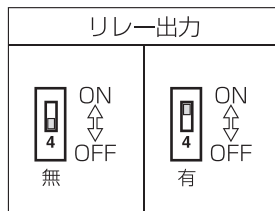
③登録したいチャンネル(表示ランプ点灯)に切り換わったときに設定スイッチ2の

No.4でリレー有無の選択 No.5で警戒モードの選択

No.6～8で登録したい報知音(「メロディ」「固定メッセージ」「録音メッセージ」)の選択をします。(録音メッセージ登録は2-3.を参照してください。)

※2-1①で最初から設定している場合は省きます。

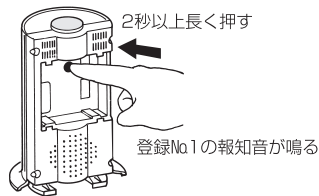
(注)リレー出力だけを変更登録する場合でも、現行と同じ報知音を選択してください。登録時に報知音も変更登録してしまいます。



- ④**選択スイッチを2秒以上長く押すと**、登録モードに切り換わり、①と同じ登録リストのNo.1の報知音が鳴ります。

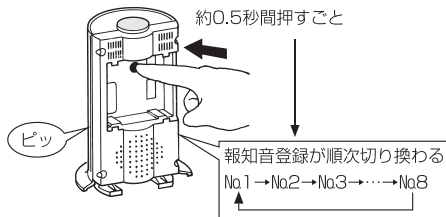
(注)押している時間が短い場合

- No.6～8を変更していない時チャンネルの切り換えになります。
- 変更したとき、①に戻ります。



- ⑤報知音が鳴っている間、**選択スイッチを約0.5秒間押すごとに確認音(ピッ)が鳴り、登録報知音が順次切り換わります。**

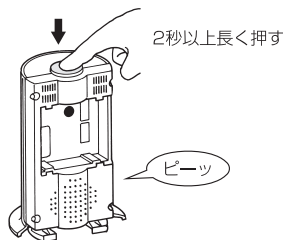
(注)報知音は操作ボタンを押すまで鳴り続けますが操作ボタンを押す時間が短いと確認モードに戻り、長いとその報知音を登録します。(⑧参照)



- ⑥希望の報知音が鳴っているときに、**操作ボタンを2秒以上長く押すと**報知音が鳴り止め、登録確認音(ピーッ)が鳴り、**登録完了**します。

1度登録しますとそのチャンネルの前の報知音は消えて登録した報知音に変更されます。その他のチャンネルは変更しません。

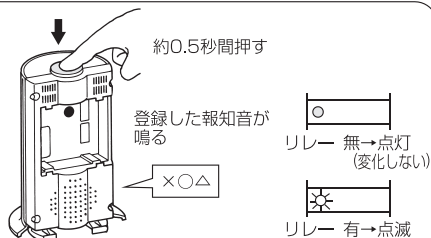
(注)操作ボタンを押す時間が短い場合、登録せずに報知音が鳴り止め、確認モードに戻ります。



- ⑦登録後、**操作ボタンを約0.5秒間押すと**登録した報知音およびリレー有無が確認できます。

リレー出力確認

リレー出力	チャンネル表示ランプ
無	点灯(変化しない)
有	点滅

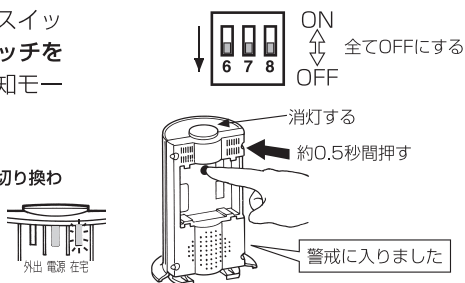


- ⑧以降③より繰り返します。

- ⑨希望するチャンネルの登録が全て終了後、設定スイッチ2 No.6～8をすべてOFFにします。**選択スイッチを約0.5秒間押すと**大形ランプが消灯して通常報知モードの在宅警戒モードになります。

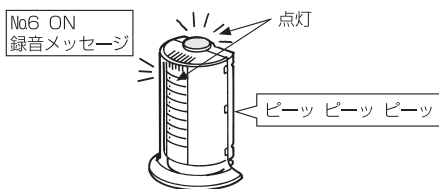
(注)選択スイッチを長く押すと誤操作音(ビッビッ)が鳴り切り換わりません。大形ランプが点灯状態のままです。

※変更しなかったチャンネルは、報知音は変わりません。



2-3. 録音メッセージの登録方法

- ①No6をON(録音メッセージ)にして2-1.の操作をしたとき確認・登録モードが切り換わると、大形ランプ、チャンネル1の表示ランプがそれぞれ点灯し、切り換え確認音(ピーッ、ピーッ、ピーッ、)が鳴り、登録報知音の**確認モード**になります。

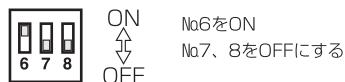


- ②2-2. ②と同じ操作でチャンネルを設定します。

- ③2-2. ③の時に、設定スイッチ2の

No6をON(No7、No8はOFF)にします。

※最初からONにして2-1.①、②の操作で登録モードにしたときは省きます。

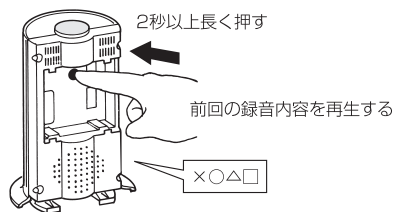


- ④**選択スイッチを2秒以上長く押す**と登録モードに切り換わり、前回録音した内容が再生されます。(録音していなければ再生されません)

(注)押し続けている時間が短い場合

- No6～8を変更していない時チャンネルの切り換えになります。
- 変更したとき、①に戻ります。

※最初からONにして2-1.①、②の操作で登録モードにしたときは省きます。



- ⑤**操作ボタンと選択スイッチを同時に2秒以上押し**ます。大形ランプが点滅を開始しますので、この間にマイクに向かって録音するメッセージを話します。

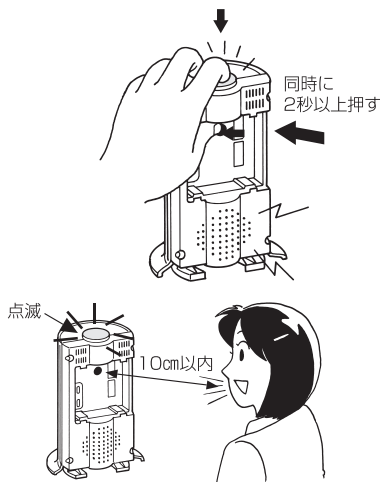
6秒間録音できます。(終了すると大形ランプは点灯に戻ります)

あらかじめ録音内容のメモを用意するとスムーズに録音できます。

録音メッセージは、録音と同時に選択したチャンネルに登録されますので2-2.⑥のように操作ボタンを2秒以上押す必要はありません。

(注)●マイクとの距離は**10cm以内**で話してください。離し過ぎますと録音音声が小さくなります。

- 周囲の音も録音しますので、静かな場所で録音してください。
- 録音時間の6秒間は固定です。それ以上長くまた、短くもできません。



- ⑥2-2.⑦の操作を行うと録音状態が確認できます。

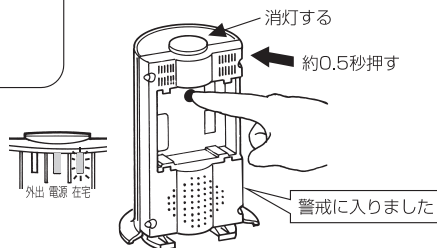
間違いや、気に入らない場合は⑤の操作からやり直してください。

また、録音したメッセージを別のチャンネルにコピーしたい場合、ページ23 **録音メッセージのコピー方法** を参照してください。

⑦以降②より繰り返します。



⑧希望するチャンネルの登録が全て終了後、設定スイッチ2 No6～8を全てOFFにします。選択スイッチを約0.5秒間押すと通常報知モードの在宅警戒モードになります。

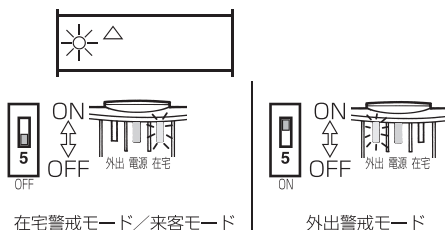


録音メッセージのコピー方法

何度も同じメッセージを録音する必要がありません。

(1)2-3. ②の方法で録音するチャンネルを選択します。

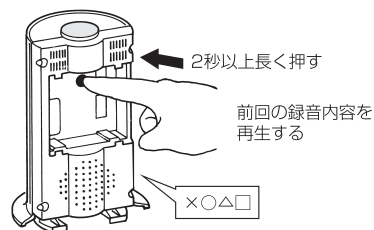
また、もう一方の警戒モードにコピーしたい場合、設定スイッチ2のNo5を切り換えます。



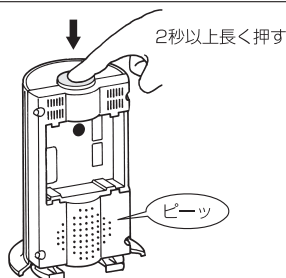
(2)2-3. ④と同様に**選択スイッチを2秒以上押し**ます。

録音したメッセージが再生されます。

以前に複数メッセージを録音している場合、選択スイッチを約0.5秒押すごとに切り換わり再生します。



(3)再生しているときに**操作ボタンを2秒以上押し**すと確認音(ピーッ)が鳴り、登録ができます。



2-4. 登録報知音の確認方法

2-2、2-3でそれぞれの報知音登録して通常モードに戻した後、再確認する場合ページ18の「1-3. 報知音の確認方法」に従って操作を行うと確認できます。

(注)在宅警戒モードで登録した報知音を確認する場合、設定スイッチ2のNo1～3を全てOFFにしてください。1つでもONの時、玄関チャンネルが設定されますので、玄関チャンネル以外のチャンネルは警戒チャンネルとなります。(ページ13〈玄関チャンネル〉(注)1.参照)

警戒チャンネルの報知音は、外出警戒モードでの登録報知音となり、在宅警戒モードでの登録報知音が確認できません。

7 点検方法

使用方法、登録方法や注意また、組み合わせて使用する送信部の取扱説明書をよく読み、各スイッチを正しく設定をして正しい操作を行っても正常な動作をしない場合に、故障と判断するまえに下記の点検を行ってください。

問題点	原因		対策
誤動作 または動作 しない	近くで同じスーパーワイヤレスシリーズを使用している。	⇒	グループIDの組み合わせを変えてください。
	近くで強力な電波や電磁波ノイズが出ている。	⇒	電波源を調査して、取り除く、または、影響が出ない場所に移動させる。
	送信部との距離が離れ過ぎている。	⇒	送信部と受信部を近づけ設置する。
	家庭のプレーカーが落ちている。	⇒	プレーカーが落ちた原因を調査して、問題なければ、入れてください。
	送信部の電池容量がなくなっている。	⇒	送信部の電池を新品と交換する。
	複数の送信部から同時に電波が送信している。	⇒	送信部を同時に使用しない。
報知音が頻繁に切り換わる	複数の送信部から同時に電波が送信している。	⇒	送信部を同時に使用しない。

8 仕様

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

品名	スーパーワイヤレス受信部		
品番	SHS-1000		
電源	付属ACアダプタPA-12-5 入力AC100V 50/60Hz 14VA 出力 DC12V 500mA		
消費電流	約450mA(報知動作中)		
受信周波数	426.125MHz		
グループID数	32通り		
チャンネル数	8		
報知音	時間切り換え	10秒～3分～10分 3段階切り換え	
	音量切り換え	小～中～大 3段階切り換え	
表示ランプ	大形ランプ(操作ボタン兼用)：赤、電源ランプ：緑、在宅警戒モードランプ：橙 外出警戒モードランプ：赤、チャンネル表示ランプ：赤		
使用温度範囲	-10℃～+50℃		
外形寸法	(H)181×(W)100×(D)85mm		
質量	本体：475g ACアダプタ：295g		
設置場所	屋内卓上置用		

※簡易的に機能を下表にまとめています。

在宅警戒モード

	玄関チャンネル		警戒チャンネル
	あり (設定チャンネル)	なし (チャンネル1~8)	
音量切り換え	切り換え可能(小-中-大)		最大音固定
報知音(初期登録のモード)	在宅警戒モード登録報知音		外出警戒モード登録報知音
報知(リレー出力)時間切り換え	固定 メロディ ピンポン 5回 その他 約10秒 固定メッセージ3回 録音メッセージ2回	切り換え可能 10秒-3分-10分 ※ピンポンは5回に固定	
強制ストップ (操作ボタン押し回数による)	1回目 報知音(リレー出力)ストップ ----- 2回目 ランプ消灯(モードランプは点灯状態)		

外出警戒モード

	玄関チャンネル		警戒チャンネル
	あり (設定チャンネル)	なし (チャンネル1~8)	
音量切り換え	最大音固定		
報知音(初期登録のモード)	外出警戒モード登録報知音		
報知(リレー出力)時間 切り換え	切り換え可能 ※ピンポンは5回に固定 10秒-3分-10分		
外出タイマ	約1分間	なし	
報知遅延時間	約30秒	なし	
強制ストップ (操作ボタン押し回数による)	1回目 報知音(リレー出力)ストップ ----- 2回目 ランプ消灯(モードランプは点灯状態)		

来客モード

	チャンネル1~3	チャンネル4~8
音量切り換え	切り換え可能(小-中-大)	
報知音(初期登録のモード)	在宅警戒モード登録報知音	
報知(リレー出力)時間 切り換え	固定 メロディ ピンポン 5回 その他 約10秒 固定メッセージ3回 録音メッセージ2回	
強制ストップ (操作ボタン押し回数による)	1回目 報知音(リレー出力)ストップ ----- 2回目 表示ランプ消灯 (電源ランプは点灯状態)	

保証書

この製品は、十分なる信頼性テストをもとに設計、製造され、厳密な検査を経て出荷されたことを証明し、下記の規約により小売店から購入した日から1年間、その品質を保証します。

1. 通常使用により、万一製造上における欠陥が生じた場合は、本保証書により、無償で新品と交換または修理をいたします。ただし、右記の理由またはこれに準ずる理由により生じた故障につきましては本保証書は適用されません。
 - 取扱上の不注意、誤った使用方法。
 - 天災・火災等
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等。
 - 保存上の不備。
 - 弊社指定の修理人以外による修理または改造。
 - 本製品本来の使用目的以外の使用。
2. 使用に伴う部品の消耗には保証は適用されません。
3. 運送料及び梱包料等の諸掛り費用はお客様ご負担とさせていただきます。
※販売店名、ご購入年月日のないものは無効となりますのでご注意ください。
4. 保証期間が切れた後の修理、保証の適用されない故障につきましては、有償で修理いたします。
5. 本保証書は再発行いたしません。

ご購入品名	スーパーワイヤレス 受信部 SHS-1000		
ご購入年月日			
ご住所(〒 -)	お名前		
TEL			
販売店名	故障状況		

DXアンテナ株式会社

本社/〒852-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)